

教育委員会だより - 学(まなぶ) -

(2月1日号)

教育委員コラム



教育委員 太田 佐帆子

「マイナスに思えることをプラスにできる力」

高校野球や高校サッカー、箱根駅伝など高校生や大学生が頑張る姿を観ると毎年とても感動します。先日娘と全国高校サッカー選手権大会を観ていた時、負けた選手の涙を見て「このゲームの勝者が人生の勝者とは限らないよね。高校サッカーでは負けても次のステージでは勝てるかも。苦しさや悔しさを乗り越えた人は強いよね。」と娘が言いました。どのチームも勝つことを目標に厳しい練習を積んでいます。彼らは、その中で「どんなに苦しくても頑張る力」を身に付けているでしょう。そして、それでも負けてしまった時に味わう悔しさ、絶望感、無力感は、今までの自分をさらに強く優しくしてくれる可能性があります。試合に負けても人生は続いていて、これからも勝負は色々な場面で出てきます。彼らなら何度負けてもそこから立ち上がり、悔しさをバネにもう一度頑張ることができるだろうと娘は感じたのでしょう。頑張った分悔しさは大きいけれど、負けを知ることは自分次第で人生にとって大きなプラスにできると感じます。長い人生には、嬉しいことも悲しいことも色々あります。多くの子どもたちがどんな時もマイナスに思えることをプラスにできる力を身に付けながら成長していけると良いなと感じています。

「知立市G I G Aスクール構想 ～個別最適化され、創造性を育む環境の実現～」

▶学校教育課 学校教育係 ☎(95)0136)

○G I G Aスクール構想とは

1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、一人一人の子供たちに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現することです。

○知立市G I G Aスクール構想 (ICTを活用した学習活動)

知立市では、次の2つのことを中心にICTを活用した学習を行います。

・一人一人学びに向かう個別学習

ドリルソフトで自分のペースで学習したり、NHK for Schoolなどの動画を視聴して学びを深めたりして、一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた学習を進めます。

・仲間とともに課題を解決する協働学習

授業支援ソフトを使って自分や仲間の意見を比較検討したり、探究的な活動を行い、作品を協働制作したりして、一人一人の考えを共有し、多様な意見に触れられる学習を進めます。

○現在の取組と今後の予定

知立市教育委員会が作成した「知立市GIGAスクール構想リーフレット」を保護者に配布し、理解と協力をお願いしています。そして、情報教育研究推進委員会において、1人1台端末配備時の授業案を作成し、その授業案をもとに各校の教員が子供たちに端末の使い方、情報モラルなどを指導しています。

今後、情報教育研究推進委員会を中心にICTを活用した学習活動について研究を重ね、これまでの教育実践とICTのベストミックスを図ることにより、すべての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指します。